

1 単元名 わかったことを説明しよう 「花を見つける手がかり」

2 単元の目標

- 本文の問いと答えの関係に気付き、実験の結果からわかることを進んで読み取ろうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 問題や実験の目的を受けて、事実と結論、実験と実験の関係を考えながら文章を読むことができる。(C 読むこと (1) イ)
- 研究の進め方を明確にするために、それぞれの実験の目的と結果、残された課題などを抜き出しながらか読むことができる。(C (1) エ)
- 表現したり理解したりするために必要な語句を増やし、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解することができる。(伝国 イ (オ))

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・最初の問いから実験が始まり、その結果を受けて次の実験が設定されていることに気付き、結果からわかることとわからないことを分けて読み取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その実験の結果が何を表すことになるのかを理解し、結果と結論を区別して読み取ることができる。(1) イ ・3年生にわかりやすく説明するために、文章中の要点に注意しながら読むことができる。(1) エ 	<ul style="list-style-type: none"> ・短くわかりやすい言葉に置き換えるために必要な語句を増やしている。(1) イ (オ)

4 単元について

(1) 単元で伸ばしたい力

本単元では、問いと答えの関係の文章を見つけて読み取り、三つの実験をまとめる活動を通して内容を正しく理解し、要約することを目的とする。その際に、事実と意見、結果と結論を区別して読み取っていくことが大切である。

まず、「結果」、「結論」、「事実」、「意見」、といった用語の意味を確認し、他教科ともからめてこれらを区別することの大切さを確認していきたい。次に、本文中で実験が3つ行われていることから、その目的や手順を確認するために、表を用いてまとめるとよいことに気付かせたい。まとめる際に項目をよく考えることで、3つの実験が並行して考えられたわけではなく、実験の結果を受けて新たに必要となったものだと気付いていくことができるだろう。

そのために、本単元では3つの実験をわかりやすくまとめられるようワークシートを配布する。(中略) 今回は枠組みは全員で統一できるようにしたい。1つ目の実験は教師と一緒にまとめ方を確認していく。1つ目で重要な語句の見つけ方や結果と結論を区別することなどを伝えていくので、2つ目と3

つ目は自分たちでまとめることができると考える。そうしてまとめたワークシートをもとに、本文の要約へと進んでいきたい。

(2) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、「花を見つける手がかり」の内容を、わかりやすく短い言葉に直して(=要約して)3年生に発表する活動を位置づけた。

「花を見つける手がかり」は、問いを解明する過程を明快にえがいた文章である。筆者は、はじめに、「もんしろちょうは何を手がかりにして花を見つけるか?」と問いをたて、その問いを「色か、形か、においか?」→「色か、形か?」→「色か?」と、実験を繰り返しながら消去法的にしぼりこんでいき、結論に至っている。教材を読み進めることで、児童も一緒に問題を追及していくおもしろさを感じることができると考えられる。また、児童たちは3年生のときに理科の授業でもんしろちょうを育てているので、もんしろちょうに対して親しみがある。本単元で読み取ったことを、現在の3年生に伝えるという活動を位置づけることで、上級生になった児童たちの意欲を刺激し、同時に、3年生に4年生の教科書の内容をそのまま伝えるわけにはいかないという、要約の必要性にも気付かせたい。

これまでの説明文では、問いと結論が明確に一致していた。しかし、本教材は「花を見つける手がかり」という題名(問い)に対して、結論は実験や観察の積み重ねによって事実が明らかになるという、研究者の視点による締めくくりとなっている。特定の事例を説明したうえで一般化を図るという説明文の形は、今回初めて出会うものである。事例と主張がつながっているか、筆者の結論に説得性はあるかなど、新たな視点で文章を読むきっかけとなるであろう。

(3) (1)(2)の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

本単元では説明文の組み立てを理解しながら読み、言葉を選んだり言い換えたりして要約文を書いていく。そのため、生き物の生態を説明する本を集め、児童に紹介し、いつでも読めるようにする。たくさんさんの文章に触れることで、感覚的にでも説明文の組み立てを感じ取れば、本文を読むときの一助になると考える。また、読み取ったことを書き表すためには書く力も必要不可欠である。そこで、視写を定期的に行う。(中略)視写を行うことで、正しい日本語や原稿用紙の使い方を確認したり、言葉一つ一つを見つめたりする態度を養っていきたい。

5 児童の実態(略)

6 単元指導計画（全8時間）

時	学習活動	指導や支援の手だて◇評価（評価方法）
1	<p>○学習の流れをつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>○音読をしたり、語句の意味を調べたりする。</p>	<p>・読み取ったことを要約し、3年生に伝える活動があることを知らせる。</p> <p>・国語辞典を活用するとよいことを伝える。</p> <p>◇言葉を大切にしながら音読をしたり、進んで意味を調べようとしていたりしている。（態度、ノート）</p>
2	<p>○形式段落を確認し、構成を考える。</p>	<p>・結果と結論、事実と意見といった用語とその意味を確認し、形式段落の内容がどちらなのかを確認させる。</p> <p>・問いと答えの関係にも着目させ、その形式段落で問われたことを解明するための本文がどこまで続いているのかを読み取るとよいことを伝える。</p> <p>◇本文をよく読み、本文から根拠を見つけて構成を考えている。（ノート）</p>
3	<p>○本文では三つの実験が行われていることを確認する。</p> <p>○一つ目の実験についてまとめる。</p>	<p>・それぞれの実験が何を目的とし、どんな手順を踏んでいるのかをわかりやすくするために、表にするとよいことを伝える。</p> <p>・大切だと思う言葉には線を引かせることで、ワークシートにまとめる際に見つけやすいようにする。</p> <p>◇表でまとめることのよさに気づき、本文から必要な項目を見つけてまとめている。（ワークシート・発言）</p>

4 (本時)	<p>○二つ目の実験についてまとめる。</p> <p>○二つ目の実験の結果から、次にどんな実験をする必要があるかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順序を表す言葉に着目するとよいことを伝える。 ・結果と結論を分けて考えていくとよいことを、アドバイスする。 ・筆者のはじめの問いから、どんどん選択肢がしぼられていることに気付かせる。 <p>◇実験について、目的や方法をまとめることができている。(ワークシート・発言)</p>
5	<p>○三つ目の実験についてまとめる。</p> <p>○形式段落の⑭と⑮は、本文にとってどんな意味があるかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順序を表す言葉に着目するとよいことを伝える。 ・結果と結論を分けて考えていくとよいことをアドバイスする。 ・反論に備えての文章を書くことで、説得力が増すことに気付けるようにする。 ・一連の実験を通して、今後の考え方につながるようなまとめを筆者がしていると知らせる。 <p>◇実験について、目的や方法をまとめることができている。(ワークシート・発言)</p>
6 ・ 7	<p>○前時までのワークシートを元に、要約文を書くことを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要約が、本文を「わかりやすく」「短い言葉」でまとめたものであると伝える。 ・3年生にわかりやすく伝えるために、要約文の他に図や絵を用いてもよいことを伝える。 <p>◇下級生に伝えるためにわかりやすく本文を要約している。(ノート)</p>
8	<p>○3年生に「花を見つける手がかり」でわかった内容を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎の発表とし、役割を分担するとよいことを伝える。 ・3年生からの質問を受けることで、さらにわかりやすい表現に直していくとよいとアドバイスする。 <p>◇要約したことを積極的に下級生に発表している。(態度・振り返り)</p>

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

問題や実験の目的を受けて、事実と結論の関係、実験と実験の関係を考えながら文章を読むことができる。(C 読むこと (1) イ)

(2) 本時の展開

	学習内容	指導や支援の手だて (◆評価)
	1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。	○一つ目の実験の結果から、色とおいにしぼられたことを振り返る。
	実験二の目的や方法を、表にまとめよう。	
	<p>2. 四段落を音読する。</p> <p>3. ワークシートに実験二をまとめる。 (発問例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「色」「形」「におい」のうち、実験二の結論で何をたしかめることになりましたか。 ・なぜ、プラスチックの造花を使うことにしたのでしょうか。 ・実験一と実験二で、ちがうところは何ですか。 ・実験方法は、何が同じで、何がちがうでしょうか。 ・なぜ、花だんのときと同じ四種類の色にしたのでしょうか。 ・ちょうは造花を花だと思っているのでしょうか。どの文章からわかりますか。 ・プラスチックの花に、みつやにおいはあるのでしょうか。 ・今回の実験で、「色」「形」「におい」のうち、どれが花を見つける手がかりではないことがわかりましたか。 ・実験一と実験二で、どちらもあまりチョウが来なかった色はありますか。 ・次に必要なのは、何を確かめる実験ですか。 	<p>○実験の大切なところを意識して読むことを確認する。</p> <p>○教科書の必要なところに線を引いてもよいことを伝える。</p> <p>○線を引く数を限定するよう伝えることで、より大切なところを探ることができるようにする。</p> <p>○結果と結論の意味をおさえ、混同しないように掲示物や声かけ等で支援する。</p> <p>○一つ目の実験では花を使ったことと比較させる。</p> <p>○偶然チョウが造花にとまったわけではない根拠が文章中にあることを伝える。</p> <p>○初めに筆者が提示した三つの選択肢から、何が減り何が残ったのかを考ええるとよいことを伝える。</p> <p>◆本文を読み、結果と結論の関係や、実験二がもつ意味を理解しながら読み、ワークシートにまとめている。</p>

	<p>4. まとめたことをもとに、クラス全体で二つ目の実験の内容について確認する。</p> <p>5. 実験二の内容を要約する。 (発問例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにまとめた言葉を使ってみましょう。 ・「そこで」「ですから」などの言葉を使うとわかりやすいですね。 ・同じような意味の言葉を続けて使っていますか。 ・なくても意味が通じる言葉なら、けずってみてもいいかもしれませんね。 <p>6. 隣同士で要約文を発表し合い、よいところを見つけたり、さらによくするためにアドバイスをしあったりする。</p> <p>7. 次時の活動の確認をする。</p>	<p>○児童が挙げた内容を確認しながら、教師が掲示用の表に書き込むことで、共通理解ができるようにする。</p> <p>○要約は、大切なことを短くまとめることだということを確認し、目安の字数を提示する。</p> <p>○ワークシートに書いた言葉や、各形式段落で大事だと思う言葉をつなげて書くとよいことを伝える。</p> <p>○字数制限よりも長くなってしまった児童には詳しく説明しすぎているところがないかを確認する。</p> <p>○逆に短すぎる児童には、これで3年生に伝わるかを考えさせ、付け加えたらわかりやすくなる言葉を探すとよいことを伝える。</p> <p>○早く完成した児童は、完成した児童同士で読み合って文章の確認をしようよう指導する。</p> <p>○ワークシートにまとめた5つのポイントが要約に表れているかをチェックしなら聞くことを確認する。</p> <p>○三年生の気持ちになり、難しすぎる言葉がないかを確認するとよいことを伝える。</p> <p>○次回は三つ目の実験について考えていくことを確認する。</p>
--	---	--